

ジェンダーと表現

ジェンダー研究センターはジェンダー平等、性の多様性の尊重を目的に掲げて、性別にかかわらず人々が生き生きと能力を発揮する社会の実現のためにさまざまな活動を行なっています。その一つとして、社会貢献事業「エンパワーメントプログラム」で生涯教育に取り組んでおり、人間の自己意識の基本である「表現」にフォーカスした「ジェンダーと表現」というプログラムを設けています。

「造形表現・織ワークショップ/版画ワークショップ」は、基礎的な技術を学びながら作品を制作し、表現活動によるエンパワーメントを目指しています。

青山アカデミア開講

https://agu.lifelong-learning.a01.aoyama.ac.jp/List_Seminar.php

織・版画ワークショップは「青山アカデミア」にて開講します。
詳細、お申込方法については Web サイトをご覧ください。
※各ワークショップとも、定員に達し次第、受付を終了します。



造形表現 織ワークショップ (Advanced course 応用コース) [講座 D]

講座 D 「足踏み織機で平織の平面効果とノッティングなどのレリーフ効果を学ぶ」

日 程：9/20、10/4、10/18、11/22、12/13 (土)
(この他に 11/29 は自習のための工房使用が可能です)
時 間：10:00～15:00 (昼休み 1 時間)
場 所：ジェンダー研究センター 織工房
／スクーンメーカー記念館 (旧女子短期大学図書館) 2 階
定 員：6 名
参加条件：高校生以上
(これまでの織ワークショップに参加された方、または経験者)
参加費：一般 20,000 円、大学生・高校生 10,000 円
(5 回+自習 1 回/材料費含む)
内 容：5 回連続講座。
4 枚綜絊の足踏み織機 (ミニルूम) を使って、平織で緯糸の色による平面効果とノッティングやスマック技法によるレリーフ効果を学びます。
サイズ：幅 22cm、長さ約 90cm の範囲で試し織と作品制作を行います。
講 師：阿久津光子 (織作家・元青山学院女子短期大学教授)



申込期間：8/9～8/23 (二次申込 8/25～9/14)



造形表現 織ワークショップ (Experience course 体験コース) [講座 E]

講座 E 「ノッティング織を学ぶ」

日 程：11/15 (土)
時 間：10:00～15:00 (昼休み 1 時間)
場 所：多目的ルーム
／スクーンメーカー記念館 (旧女子短期大学図書館) 2 階
定 員：10 名
参加条件：高校生以上
参加費：一般 3,800 円、学生以下 1,800 円 (材料費含む)
内 容：ペルシャ絨毯のように毛足のあるノッティング織の技法を学びます。
サイズ：約 11×11cm
講 師：山本真由 (織作家・織工房主宰)



申込期間：10/11～10/25 ※一部～11/9

造形表現 織ワークショップ (Experience course 体験コース) [講座 F]

講座 F 「フェルトメイキング」

日 程：11/29 (土)
時 間：10:00～15:00 (昼休み 1 時間)
場 所：多目的ルーム
／スクーンメーカー記念館 (旧女子短期大学図書館) 2 階
定 員：10 名
参加条件：小学生以上 *低学年は付き添いが必要です
参加費：一般 3,800 円、学生以下 1,800 円 (材料費含む)
内 容：羊の原毛を石鹸水を用いて縮絨する技法を学び、オリジナルフェルト作品を制作します。
サイズ：約 15×15cm
講 師：山本真由 (織作家・織工房主宰)



申込期間：10/18～11/1 ※一部～11/23

造形表現 版画ワークショップ

「銅版画の技法・表現効果を学ぶ」③

日 程：10/25 (土)
時 間：10:00～15:00 (昼休み 1 時間)
場 所：版画室 (短大北校舎 1 階)
定 員：10 名
参加条件：小学生以上 *低学年は付き添いが必要です
あらかじめ版サイズの下絵を描いて持参してください。
(当日技法を決める場合は、技法に応じて下絵を拡大縮小します)
参加費：一般 3,800 円、学生以下 1,800 円 (材料費含む)
内 容：アルミ板メゾチント (版サイズ 6.5×7.5cm)、または銅板エッチング、ドライポイント (版サイズ 9.0×12.7cm) いずれか一つ技法を選んで受講者が版を制作し、講師が刷りを行います。
講 師：白井四子男 (摺師・白井版画工房主宰)



申込期間：9/13～9/27 ※一部～10/19

■青山学院女子短期大学同窓会芸術学科会との共催で、2026 年 1 月と 2 月、同じ講師による銅版画講座を開講します。
日時、申込方法など詳細は、10 月頃、短大同窓会ウェブサイトに掲載される「会報第 51 秋号」の芸術学科会ページをご覧ください。